

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	結核対策特別促進事業			事業番号	011-236
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 26 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民のうち結核に罹患した人 約200人	対象数	200	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核の再発・多剤耐性結核を予防するためDOTS事業による確実な治療の推進を図る。</li> <li>結核罹患の多い高齢者等に対する結核予防事業を実施し、あわせて啓発を行うことで高齢者の結核罹患率を低下させる。</li> </ul>			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> <li>DOTS支援員（訪問看護師、協力薬局など）による服薬支援（DOTS）の実施。</li> <li>ハイリスク者（高齢者など）に対する結核検診や啓発の実施。</li> </ul> <p>※DOTS…（Directly Observed Treatment Short Course）直接監視下服薬短期療法。 患者の服薬を医療従事者が直接確認し、服薬を支援する治療方法。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市薬剤師会			
10	公民連携・協働事業				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	結核罹患率	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	15.6	15.0	14.0	13.0
			実績値	14.5	14.6		
	達成率	93%	97%				
当該指標を選定した理由	本事業は、結核患者の早期発見、まん延の防止を目的としているため。 ※罹患率…一年間に発病した患者数を人口10万人対率で表したものの。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市結核対策評価会議を実施し、国の指針に基づき算定していたが、現時点で指針が示されていないため、実績より算定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	全患者に対するDOTS実施率	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	95	95	95	
			実績値	99.4	100		
	達成率	105%	105%				
当該指標を選定した理由	全患者にDOTSを実施することで、確実な治療促進を図っているため。 年度中に前年度の実績を算出するため、実績値については、前年度の値を記載。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年の新登録患者に対するDOTS実施率。国の定める「結核に関する特定感染症予防指針」参照。						

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	結核対策特別促進事業	事業番号	011-236
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	4,661	4,672	6,187	4,667	6,104
13 財源内訳					
国支出金	3,115	3,966	5,305	4,097	5,267
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ( )			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	1,546	706	882	570	837
14 人件費 (b)	16,400	16,400	20,000	20,000	27,900
15 年間経費(c)=(a)+(b)	21,061	21,072	26,187	24,667	34,004

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R4	決算	R5	予算			R4	決算	R5	予算	
16 事業費内訳	R4	決算	570	570	0	結核手帳印刷製本費	R4	決算	19	0	0
		R5	予算	750			750	R5	予算	28	
会計年度任用職員雇用経費	R4	決算	3,378	0	0	服薬支援 (DOTS) 業務委託料	R4	決算	294	0	0
	R5	予算	3,426	0			R5	予算	385	0	
事務連絡等通信運搬費	R4	決算	142	0	0	結核ハイリスク者検診	R4	決算	0	0	0
	R5	予算	250	0			R5	予算	440	0	
研修会等参加旅費	R4	決算	121	0	0	外国人に対する治療・服薬支援員委託料	R4	決算	42	0	0
	R5	予算	193	0			R5	予算	250	0	
研修会参加負担金	R4	決算	101	0	0	その他 (報酬、消耗品費、備品購入費等)	R4	決算	0	0	0
	R5	予算	67	0			R5	予算	315	87	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 新規登録患者数 (DOTS実施対象者数)	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,041	4,059
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	30,157	34,109
備考 (算出についての説明等)		前年の新規登録者に対するDOTS事業の費用を計上。	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス感染症の影響により控えていた面会でのDOTS業務を令和4年度は徐々に増やしたことで、旅費や委託料が前年度より増加し、費用対効果は低下したと考えられる。しかし、新規登録患者数 (DOTS実施対象者数) が減少し、DOTS実施率を100%にすることができたことから患者一人一人に丁寧な対応を行っていたと考えられる。

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 新型コロナウイルス感染症の影響により面会を控え、郵送などでDOTSを行っていたが、当該年度は徐々に面会の数も増やしたことによりDOTS実施率を100%にすることができた。  
また、令和2年度より導入しているモバイル端末にて患者管理の一部データ化を図っているが、あまり実用できていない点がある。DOTS業務における患者の服薬漏れや治療中断を減少することができ、職員の業務効率の向上につながると考えられる。ペーパーレスを推進するためにも、早期の実用化に向けて取り組みを進める。